

株主のみなさまへ

第196期 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第196期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におきましては、輸送の安全確保を最優先課題とし、鉄道事業を中心に計画的に設備の更新を行った他、異常時訓練や安全指導等を実施し従業員の意識向上に取り組み、本年度も運転無事故を継続することができました。こうした実績が評価され、昨年10月に国土交通省関東運輸局長より鉄道等の運転無事故事業者として表彰されました。また、沿線地域の活性化に貢献すべく、昨年10月20日に当社の37番目の旅客駅として永田一小前田駅間に「ふかや花園駅」を開業いたしました。

営業活動においては、デジタルサイネージの利用をはじめ一層のサービスの向上をはかるとともに、各種イベントの実施、沿線市町や同業他社等と連携した積極的な誘客活動を行い収益の確保に努めました。しかしながら天候不順、貨物輸送数量減少等の減収要因が重なったため、各部門において増収対策や費用削減に取り組んだものの減収分を補うまでには至らず、当連結会計年度の営業収益は5,216百万円(前期比3.3%減)、営業利益は73百万円(同71.3%減)、経常利益は66百万円(同71.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は103百万円(同35.8%減)となりました。

当期の配当金につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益は計上しているものの、会社法に定める配当可能原資を確保できていないことから、誠に遺憾ながら引き続き無配とさせていただきますと存じます。株主の皆様には、お詫び申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

当社グループは、鉄道事業を柱として事業展開していることから、公共交通機関としての「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。この目的を達成し、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるため、施設の継続的な整備に力を注ぐとともに、全役員・従業員が公共交通事業者としての社会的責任と使命を常に意識して業務にあたるよう努めてまいります。

また、鉄道運賃をはじめとした各種運賃・料金についても、多面的な検証にもとづき随時適正化を検討・実施することで収益拡大を目指してまいります。さらに、当社の沿線地域においては、居住人口の減少や少子高齢化の進行により、労働人口の不足による人材の確保も大きな課題となってきます。このため、従業員の生産性向上と教育訓練等の充実を図りつつ「働き方改革」への取り組みも行い、魅力ある会社創りに傾注してまいります。

最後に、当社を取り巻く経営環境の変化とそれへの対応について申し上げます。

昨年10月、永田一小前田駅間に37番目の旅客駅として「ふかや花園駅」を開業いたしました。現在進められている深谷市の「花園IC拠点整備プロジェクト」により、同駅周辺が今後新たな商業・観光拠点となり、観光客の大幅な増加が期待されています。また、熊谷市での『ラグビーワールドカップ2019』開催、『東京2020オリンピック・パラリンピック』の県内開催など、今後ますます埼玉県各地域が活性化していくことが見込まれます。その意味で、当社を取り巻く経営環境は大きな転換期を迎えていると言えます。当社としては、既存事業の基盤強化をはかるとともに、環境変化により生じる事業拡大のチャンスを的確に捉え、さらなる成長に繋げることができるよう、積極的な施策を検討し、実施してまいります。

敬具

2019年6月

代表取締役社長 大谷隆男

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み当社と子会社6社で構成されております。当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、「輸送の安全確保が最大の使命である」との認識のもと、設備面では引き続きコンクリート枕木化、レールの重軌条化、継電連動装置の更新、踏切道支障報知装置の新設など安全対策工事を推進いたしました。

旅客部門におきましては、沿線の市町や商業施設、同業他社と連携したイベントの開催や企画列車の運転、ふかや花園駅の開業を記念した乗車券等を発売するなど、旅客誘致に努めてまいりました。しかしながら、台風や猛暑などの天候不順やS L列車の不具合による運休等の影響もあり、定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前期に比べ減少いたしました。

また、定期旅客におきましては、沿線就学人口の減少等により通学旅客の減少に歯止めがかからず、通勤旅客は微増となったものの、全体として定期旅客人員及び定期旅客収入は前期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、石灰石の輸送量が減少し、昨年10月1日に実施した基本賃率の引上げによる改善もおよぼず、貨物収入は前期に比べ減少いたしました。

営業費用は、安全性を維持するため修繕費が前期に比べ増加した他、電力料金単価の値上がりの影響などにより、前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は3,326百万円(前期比3.9%減)、営業損失は189百万円(前期は0百万円の利益)となりました。



不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸物件の入居率の低下がありました。が、昨年度拡充した熊谷駅南口駐車場の稼働率が向上し賃貸収入は前期に比べ増加いたしました。また、請負工事収入も前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は374百万円(前期比1.8%増)、営業利益は213百万円(同12.9%増)となりました。



バス事業

バス事業におきましては、安全とサービスの向上に努めた他、貸切バスの稼働率も上がり、営業収入は前期に比べ増加いたしました。

営業費用は、経費削減に努めましたが、車両更新による減価償却費負担増や燃料費単価の値上がりの影響もあり前期に比べ増加いたしました。

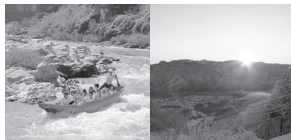
この結果、営業収益は410百万円(前期比1.3%増)、営業損失は14百万円(前期は3百万円の利益)となりました。



観光事業

観光事業におきましては、引き続き旅行者への営業活動に注力した他、長瀬ラインくだりや宝登山ロープウェイをはじめとする各施設において、年間を通して様々なイベントを実施いたしました。が、天候不順の影響等により営業収入は前期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は489百万円(前期比6.4%減)、営業利益は41百万円(同19.2%減)となりました。



その他事業

その他事業におきましては、連結子会社の秩鉄タクシー株式会社のタクシー事業を昨年9月30日をもって終了し、事業を譲渡いたしました。

その他事業の営業収入は、昨年4月に熊谷駅南口にリニューアルオープンしたコンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。が、前述のタクシー事業の終了もあり前期に比べ減少いたしました。

営業費用は、各事業において経費削減に努めた結果、前期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は1,060百万円(前期比1.0%減)、営業利益は3百万円(前期は3百万円の損失)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (2018年度)	前連結会計年度末 (2017年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,616,458	2,390,763	△ 774,304
固定資産	21,662,866	21,702,967	△ 40,101
資産合計	23,279,324	24,093,730	△ 814,405
(負債の部)			
流動負債	3,617,476	4,336,644	△ 719,167
固定負債	8,636,608	8,790,955	△ 154,346
負債合計	12,254,085	13,127,599	△ 873,514
(純資産の部)			
株主資本	650,629	547,191	103,737
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	21,952	21,916	35
利益剰余金	△ 90,729	△ 194,351	103,621
自己株式	△ 30,593	△ 30,373	△ 219
その他の 包括利益累計額	10,362,945	10,407,348	△ 44,402
非支配株主持分	11,664	11,591	72
純資産合計	11,025,239	10,966,131	59,108
負債純資産合計	23,279,324	24,093,730	△ 814,405

*記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

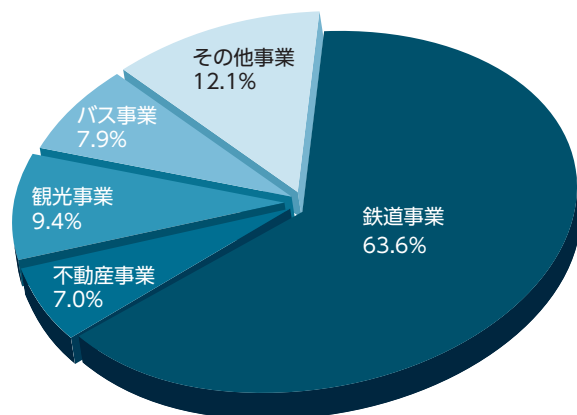
連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2018年度)	前連結会計年度 (2017年度)	増減額
営業収益	5,216,151	5,391,829	△ 175,678
営業費	5,142,632	5,135,746	6,885
営業利益	73,519	256,082	△ 182,563
営業外収益	44,133	38,847	5,285
営業外費用	51,243	61,769	△ 10,526
経常利益	66,408	233,160	△ 166,751
特別利益	166,889	530,025	△ 363,136
特別損失	161,518	534,907	△ 373,388
税金等調整前 当期純利益	71,779	228,278	△ 156,498
法人税、住民税 及び事業税	33,366	43,298	△ 9,931
法人税等調整額	△ 65,289	23,555	△ 88,844
当期純利益	103,702	161,425	△ 57,722
非支配株主に帰属する 当期純利益	80	99	△ 18
親会社株主に帰属する 当期純利益	103,621	161,325	△ 57,703

*記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比

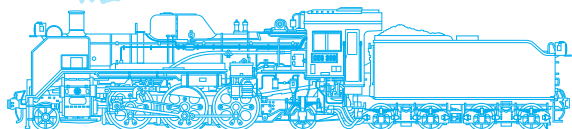


連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 (2018年度)	前連結会計年度 (2017年度)
株主資本		
当期首残高	547,191	387,329
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純利益	103,621	161,325
自己株式の取得	△ 435	△ 1,781
自己株式の処分	251	0
土地再評価差額金の 取崩額	—	316
当期変動額合計	103,437	159,861
当期末残高	650,629	547,191
その他の包括利益累計額		
当期首残高	10,407,348	10,385,251
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 44,402	22,096
当期変動額合計	△ 44,402	22,096
当期末残高	10,362,945	10,407,348
非支配株主持分		
当期首残高	11,591	11,485
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	72	106
当期変動額合計	72	106
当期末残高	11,664	11,591
純資産合計		
当期首残高	10,966,131	10,784,067
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純利益	103,621	161,325
自己株式の取得	△ 435	△ 1,781
自己株式の処分	251	0
土地再評価差額金の 取崩額	—	316
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 44,329	22,202
当期変動額合計	59,108	182,063
当期末残高	11,025,239	10,966,131

*記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当会計年度末 (2018年度)	前会計年度末 (2017年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,187,159	1,914,927	△ 727,767
固定資産	21,248,559	21,261,182	△ 12,623
資産合計	22,435,718	23,176,109	△ 740,391
(負債の部)			
流動負債	3,387,763	4,027,929	△ 640,166
固定負債	8,493,432	8,643,069	△ 149,637
負債合計	11,881,196	12,670,999	△ 789,803
(純資産の部)			
株主資本	299,608	230,447	69,161
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	14,143	14,108	35
利益剰余金	△ 433,942	△ 503,287	69,345
自己株式	△ 30,593	△ 30,373	△ 219
評価・ 換算差額等	10,254,914	10,274,663	△ 19,748
純資産合計	10,554,522	10,505,110	49,412
負債純資産合計	22,435,718	23,176,109	△ 740,391

*記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

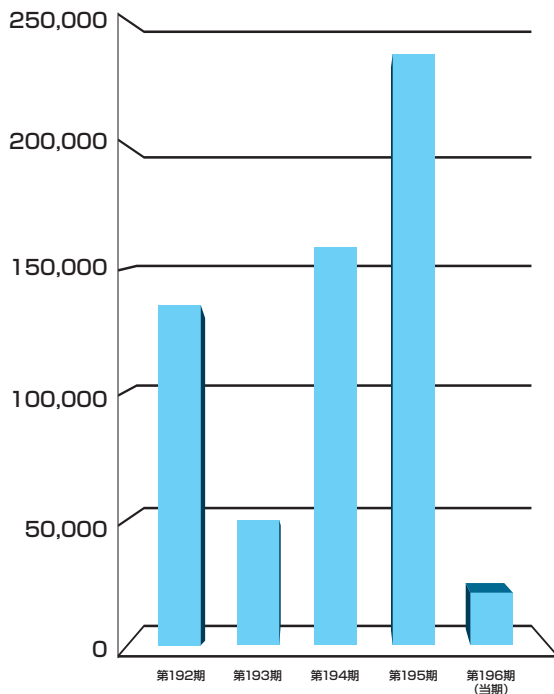
(単位：千円)

科 目	当会計年度 (2018年度)	前会計年度 (2017年度)	増減額
鉄道事業			
営業収益	3,326,156	3,459,968	△ 133,812
営業費	3,514,941	3,458,875	56,066
営業利益又営業損失(△)	△ 188,785	1,093	△ 189,878
不動産事業			
営業収益	374,888	368,423	6,464
営業費	161,826	179,629	△ 17,803
営業利益	213,061	188,794	24,267
観光事業			
営業収益	340,695	370,015	△ 29,319
営業費	325,600	339,695	△ 14,094
営業利益	15,095	30,320	△ 15,224
全事業営業利益	39,372	220,207	△ 180,835
営業外収益	50,029	97,517	△ 47,487
営業外費用	69,212	75,673	△ 6,460
経常利益	20,189	242,051	△ 221,862
特別利益	156,046	526,083	△ 370,037
特別損失	155,946	526,273	△ 370,327
税引前当期純利益	20,289	241,862	△ 221,572
法人税、住民税 及び事業税	17,395	28,580	△ 11,185
法人税等調整額	△ 66,450	27,296	△ 93,746
当期純利益	69,345	185,985	△ 116,640

*記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表

経常利益



株主資本等変動計算書

(単位: 千円)

科目	当会計年度 (2018年度)	前会計年度 (2017年度)
株主資本		
当期首残高	230,447	46,242
当期変動額		
当期純利益	69,345	185,985
自己株式の取得	△ 435	△ 1,781
自己株式の処分	251	0
当期変動額合計	69,161	184,204
当期末残高	299,608	230,447
評価・換算差額等		
当期首残高	10,274,663	10,261,605
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△ 19,748	13,057
当期変動額合計	△ 19,748	13,057
当期末残高	10,254,914	10,274,663
純資産合計		
当期首残高	10,505,110	1,037,848
当期変動額		
当期純利益	69,345	185,985
自己株式の取得	△ 435	△ 1,781
自己株式の処分	251	0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△ 19,748	13,057
当期変動額合計	49,412	197,261
当期末残高	10,554,522	10,505,110

*記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



「ふかや花園駅」開業

10月20日(土)永田一小前田駅間に37番目の旅客駅となる「ふかや花園駅」が開業いたしました。開業に先立ち10月17日(水)には関係者や招待者の方をお招きし、開業式典が執り行われました。

「ふかや花園駅」は、スロープや多機能トイレ、内方線付き警告ブロック、多言語対応券売機の設置など、どなたにも安心してご利用していただける工夫を施しております。



企画列車の運行

S L列車や電車を利用して、沿線の商業施設や学校などと連携した企画列車を運行いたしました。また、今期S L列車は冬季特別運行を実施いたしました。



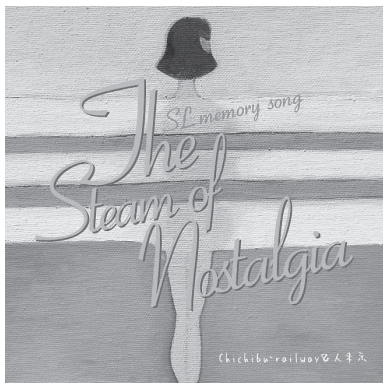
記念乗車券&記念入場券の発売

ふかや花園駅開業記念乗車券や他社とのコラボ乗車券など、本年も趣向を凝らした様々な乗車券や入場券を発売いたしました。



ちちてつArtistic Trainの運行

11月4日、「ちちてつArtistic Train」として特別臨時列車を運行いたしました。車内では、短編映画の上映や絵本の読み聞かせ、木のおもちゃとのふれあい、ミュージシャンによる演奏など、電車に乗りながら「芸術の秋」をお楽しみいただきました。



秩父鉄道初の公式 オリジナルソングCDを発売

SLパレオエクスプレス号が、2017年度に運行30周年を迎えたことを記念して公式オリジナルソング「The steam of nostalgia ~SL memory song~」を制作し、6月30日にはC Dを発売いたしました。



12系客車夜行急行列車を運行

12月12日、日本旅行との共同企画で12系客車を使用した夜行急行列車ツアーが行なわれました。途中秩父駅で「駅そば」の販売等がありました。その後、三峰口駅で車中泊し翌日5:30頃に熊谷駅に到着いたしました。



ラグビーワールドカップ2019 TMラッピングトレイン運行開始

3月2日、熊谷駅においてラグビーワールドカップ2019 TMラッピングトレインの出発式が行われました。ヘッドマークには公式マスコット「レイジー」、側面には選手の等身大写真がラッピングされております。



観光事業

各施設でシーズンに合わせた様々な企画を実施し、お客様をお迎えいたしました。長瀨ラインくんだりでは季節毎のキャンペーンや毎月16日の「トロの日」などを実施いたしました。また、宝登山山頂に四つ葉のクローバーをテーマとした「宝登山フォーリーフガーデン」をオープンした他、摘み取ったクローバーでアクセサリが作れる「クラフト工房 HODO」を営業いたしました。宝登山小動物公園では「イースターエッグハント」「世界のカブトムシ展」等のイベントを実施いたしました。有隣倶楽部・ガーデンハウス有隣では、四季折々のメニューを考案し、多くのお客様にご利用いただきました。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(平成21年1月5日実施)の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内

日本証券代行
特別口座

特別口座で管理する株式を譲渡するためには、あらかじめ株主さまご自身名義の証券会社等の一般口座へ振替えておく必要があります。

証券会社
口座開設

証券会社に口座をお持ちでない場合は、株主さまご自身で証券会社に口座開設を行ってください。

口座振替申請書
提出

日本証券代行へ口座振替申請書を請求し、必要事項をご記入、届出印を押印のうえ、口座振替申請書を日本証券代行にご提出ください。

特別口座から
証券会社口座

口座振替は、1週間程度かかります。

証券会社口座

口座振替完了後は、株式のスムーズな譲渡が可能になります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

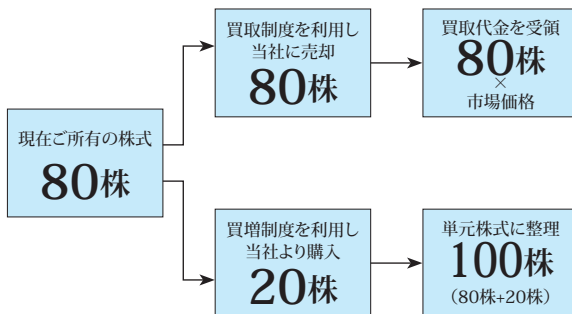
当社の単元株式数は、100株ですので、100株未満の単元未満株式は市場で売買取ることができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例)当社株式を80株ご所有の場合、その80株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)の株式にするために必要な株式を買増することを当社に請求できる制度です。

(例)当社株式を80株ご所有の場合、20株を市場価格で当社から購入し、100株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行 代理人部 (平日9:00~17:00)

0120-707-843

役員 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長	大谷隆男
取締役	高柳功
取締役	武部一弘
取締役	坂本昌己
取締役	中山高明
常勤監査役	村田光明
監査役	根津泰生
監査役	根本裕介

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	6月
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先お問い合わせ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 0120-707-843(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 全国本支店においても行っております。
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞
単元株式数	100株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が 間違いなく届きますよう、お早めに上記株主 名簿管理人にお手続きください。

ホームページ <http://www.chichibu-railway.co.jp>
※(鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。)

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主さまに
対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を
発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)
ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
1,500株以上 2,100株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
2,100株以上	当社電車全線および・索道 (宝登興業株式会社) (宝登山ロープウェイ) 全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・6月1日から1ヵ年間(5月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)
ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
100株以上 300株未満	2枚
300株以上 500株未満	4枚
500株以上 1,000株未満	6枚
1,000株以上	10枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

3. 優待割引券
ご所有株式数100株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5枚
長瀬ラインくんだり	50%割引券 各5枚
有隣倶楽部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代 (飲み物は除く)	

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)



〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>

